

「抗菌」「抗ウイルス」は“ピンポイント”に!



使用方法

- 噴霧箇所を決める**
消臭なら、床・壁・天井などの可能な限り広い面積を、抗菌・抗ウイルスなら、手の触れる部分を対象として下さい。(効果は面積に比例します。)
- 汚れを取る**
対象部分の汚れ(油、ホコリなど)を取り、しっかり乾かします。(水分や汚れの上から噴霧すると、一緒に取れてしまいます。)
- 慎重に塗布**
消臭なら隙間なく(1㎡約30~50cc)、抗菌・抗ウイルスなら、メイク用スポンジ・雑巾も利用し、着色・塗り跡に十分注意して薄く塗布します。(着色時は水洗いしてください。)
- 乾かす**
乾かします。(水溶液のニオイは、乾くと無臭になります。乾くと強力に固着し、理論上は永久的に効果が持続しますが、高機能維持の為定期的清掃と、しつこいニオイや除去困難な汚れを想定した定期的再噴霧をお願いします。)
- 換気する**
固着した触媒と接する部分に反応する為、適度な換気(空気の対流)が必要です。



クリーンフィックス グレード (主原料:酸化チタン バインダー:特殊ケイ素化合物)

製品名	目的	特長	税別価格
クリーンフィックス1004	消臭・抗菌	消臭がメイン抗菌効果もあり	
New クリーンフィックス1547IR	抗ウイルス(インフル)	2時間で99.9%以上	

使用上の注意/噴霧の対象は、お部屋、小空間、繊維、耐久消費財と幅広いですが、用途以外に使用しないでください。また、白色の漆喰や白色塗装面、白色繊維などは着色(淡黄色)にご注意ください。親油性の強い素材の場合、まだらに固着する可能性があります。本製品の性質上、まれに有効成分が沈殿する場合がありますが、品質には全く問題がありません。ご使用前によく振ってからお使いください。タンク等に移し替える場合、気泡が噛みこまない程度に都度攪拌してください。また、詰まり防止の為、使用済み噴霧ノズルは洗浄してください。冷暗所に保管してください。凍結すると品質に影響する場合がありますため、冬季など氷点下になる場所での保管は避けてください。本製品は安全性が高い触媒ですが、念のため、吸い込んだり目に入らないように使用時には保護マスク、保護眼鏡そして手袋を着用してください。飲み込まないようにしてください。万が一飲み込んだ場合は多量の水を与え、無理に吐かせず医師の診察を受けてください。目に入った場合は、流水でよく洗い流し、違和感がある場合は専門医を受診してください。皮膚に付着した場合は、流水でよく洗い流してください。本製品の使用時は乾燥するまで触媒の溶剤特有の匂いがあるため、窓を開けるなど換気してください。他の薬品等と混合しないでください。また本製品を希釈使用しないでください。

発売元



〒671-0223 姫路市別所町北宿 1156
TEL 079-253-2222 FAX 079-253-0055 <http://www.kamatani.jp/>

販売元

MAKE CO.,LTD. メイク株式会社

〒567-0057 大阪府茨木市豊川3-1-48
TEL:072-640-3105 FAX:072-640-3107
<http://www.make-levelsensor.jp>

すぐには効かない **でも**

ずっと効く

新・環境触媒※ クリーンフィックス®

※触媒:自身は不変で、周囲のみを変化させる物質

抗インフルエンザ
ウイルスカ
99.9%!
新グレード
誕生!

感染(汚染)ルートを“長期”シャットアウト!
(cf. アルコール:乾くまでの“短期”効果)

消臭

塗って乾かす水溶液

乾かせば強力固着、接触してくる有害物質を分解

抗菌

明暗・寒暑 多様な環境で効果持続

対象物を選ばない、傷めない(着色・塗り跡注意)

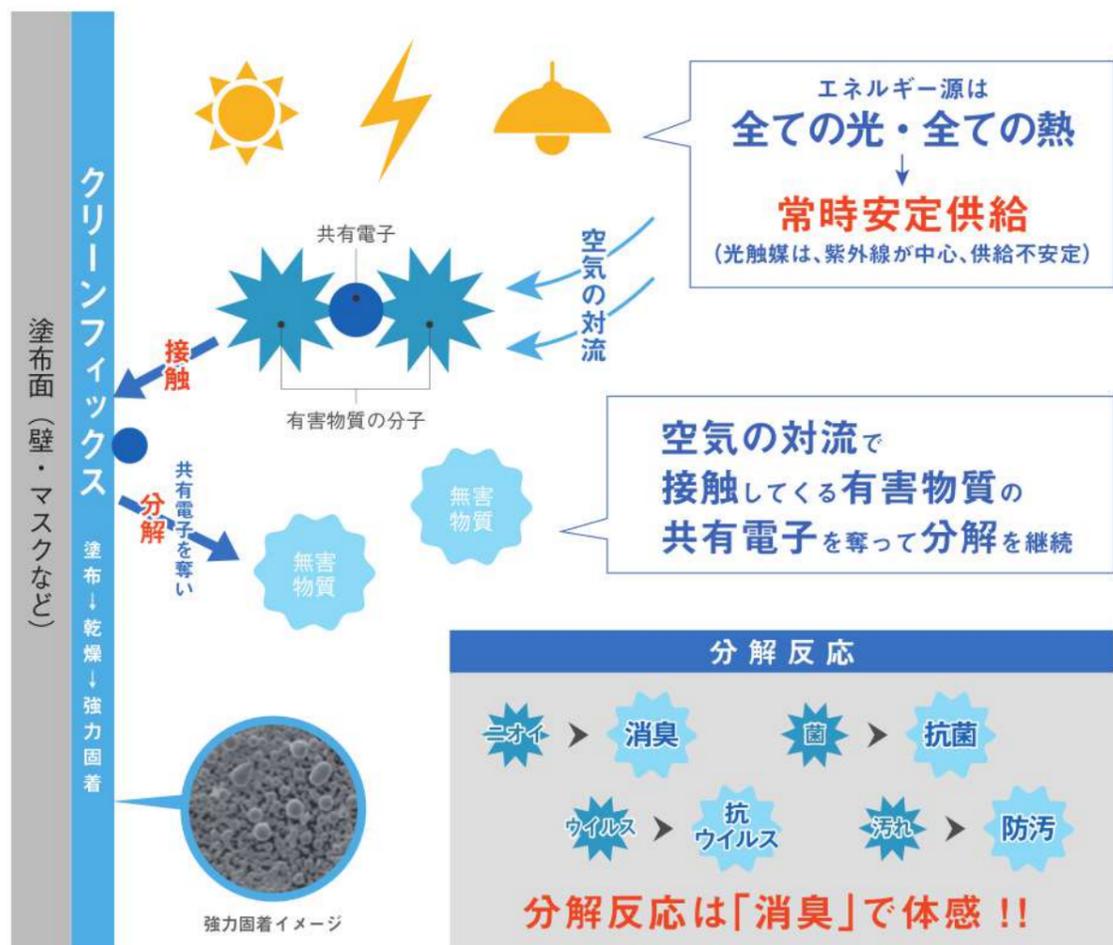
防汚

抗ウイルス

着色は塗布過剰部分、水洗いして落とす

有害物質を継続的に分解

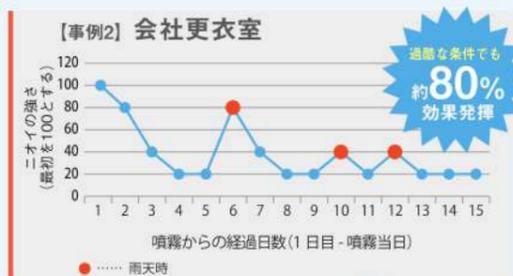
1 クリーンフィックスの固着・分解イメージ



■ クリーンフィックスの使用事例 (消臭)



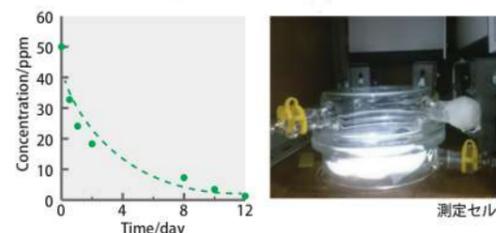
《期間》 2019年3月~4月
《測定方法》 複数人の臭覚
《部屋面積》 1.5畳
《噴霧面積割合》 総表面積の約80%(15㎡強)
→理想的な噴霧面積割合
《ニオイ発生源》 排泄物
《換気》 在宅時のみ



《期間》 2019年3月~4月
《測定方法》 複数人の臭覚+ニオイセンサー
《部屋面積》 12畳
《噴霧面積割合》 総表面積の約15%(10㎡強)
→噴霧面積過小
《ニオイ発生源》 人体、衣類、靴
《換気》 時々

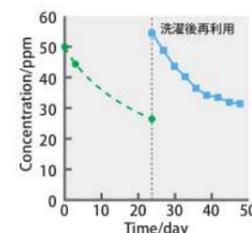
2 分離困難なニオイ物質にも効果を発揮

■ アセトアルデヒド長期間除去試験



持続的に除去可能 ※可視光照射下

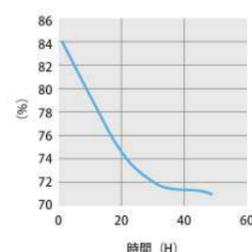
■ アセトアルデヒド消臭に対する洗濯試験



洗濯後も**繰返し**使用可能 ※可視光照射下

■ イソ吉草酸/可視光照射条件による消臭効果

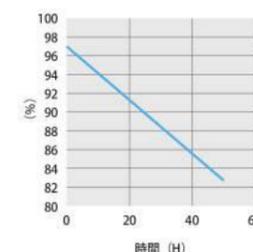
(一般財団法人カケンテストセンターにて測定)



効果的に
除去

■ 硫化水素/可視光照射条件による消臭効果

(一般財団法人カケンテストセンターにて測定)



効果的に
除去

3 様々な菌・ウイルスに効果を発揮します

クリーンフィックスは、様々な菌・ウイルス (選択性あり) に対して効果を発揮します。



生菌数の常用対数値

接種直後	4.5
18時間後	1.3以下

殺菌活性値

3.1以上
(= 99.9%以上)

静菌活性値

6.0以上
(= 99.9999%以上)

(一般財団法人ボーケン品質評価機構にて測定)



感染価対数値

接種直後	6.59
2時間後	3.48

抗ウイルス活性値

3.0以上
(= 99.9%以上)

JIS抗ウイルス効果判定

十分な効果あり
(= JISの最高評価)

(一般財団法人ニッセンケン品質評価センターにて測定)

新グレードは左表の通り
インフルエンザウイルス
に対して
十分な効果あり
類似構造の
ウイルスに対しても
効果が期待できます。

4 確かな安全性 クリーンフィックス1004と他社可視光応答型光触媒との性能比較

	クリーンフィックス1004	他社R
経口毒性 (LD50)	5000mg/kg	840mg/kg
剖検所見	異常なし (雌マウス)	不明
皮膚刺激性	異常なし (ウサギ)	湿疹、蕁麻疹の可能性あり
遺伝子への影響	異常なし	不明
吸入時の影響	知見なし 成分から考えて無害	全身の倦怠感、喘息